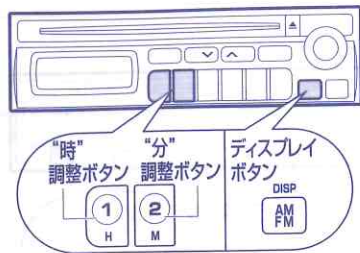
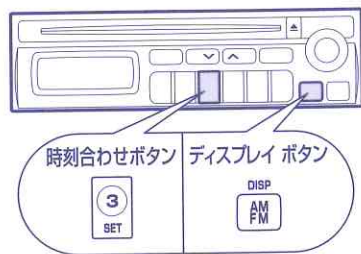


○時刻調整



時刻調整は時計表示のときにおこないます。ディスプレイ ボタンを押したまま“時”調整ボタンを押すと“時”調整、“分”調整ボタンを押すと“分”調整ができます。

○時報に合わせるとき



ディスプレイ ボタンを押したまま、時刻合わせボタンを押すと、表示が0~29分の場合は切り下げ、30~59分の場合は切り上げとなります。

2DIN CD/MD・AM/FM付
ステレオ

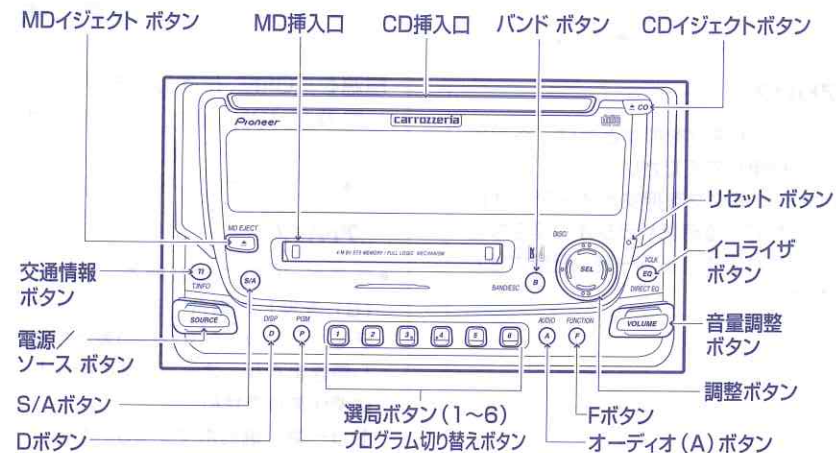
⚠ 注意

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお楽しみください。大きな音量で鳴らすと車外の音が聞こえず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中にオーディオの操作をしないでください。運転のさまたげになり思わぬ事故につながります。

📌 アドバイス

- オーディオを聞いているとき、室内または車の近くで携帯電話や無線機を使うとノイズ（雑音）が入ることがあります。

■ 各部の名称 ■





■ リセット機能 ■



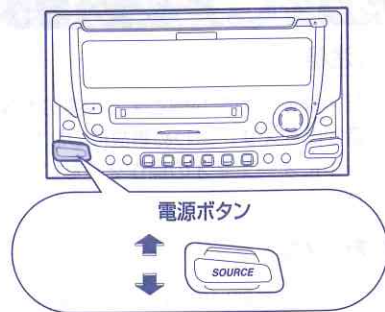
リセット ボタンを押すと初期状態に戻すことができます。次のようなときに、リセット ボタンを押してください。

- 正しく動作しないとき
- ディスプレイに正しく表示されないとき

アドバイス

- リセット ボタンを押すときは、ペン先などを使用してください。
- リセット ボタンを押すとオーディオに記憶されている時計やラジオの設定などが消去されます。もう一度、記憶させてください。

■ 電源のON/OFF ■



電源を“ON”にするとき

エンジン スイッチを“ON”または“ACC”の位置にします。電源ボタンを上または下に押すと電源が“ON”になります。

電源を“OFF”にするとき

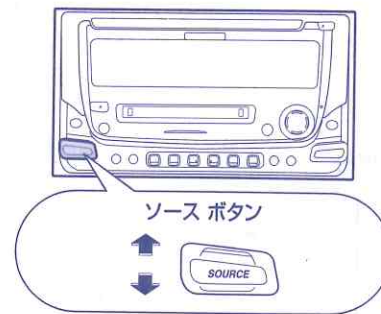
電源が“ON”の状態、電源ボタンを上または下に1秒以上押し続けると電源が“OFF”になります。

アドバイス

- 電源が“OFF”の状態、選局ボタン(6)を押した場合、ディスプレイ部にデモンストレーション用の表示が繰り返しますが、オーディオの機能としては関係ありません。もう一度、選局ボタン(6)を押し、デモンストレーション用の表示を解除してください。



■ 音源の選択 ■



ソース ボタンを上または下に押すごとに音源がCD→ラジオ→MDの順に切り替わります。

アドバイス

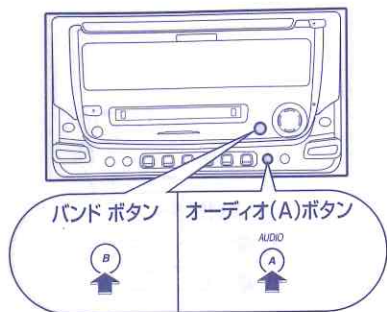
- ソース ボタンは上下どちらに押しても、ソースは上記の順に切り替わります。
- 接続していない音源には切り替わりません。
- CDやMDがセットされていないときは、その音源には切り替わりません。

■ 音量調整 ■



音量調整ボタンを上または下に押し調整します。

■オーディオ (A) ボタン



オーディオ (A) ボタンでモードを切り替えることによって、各種調整をおこなうことができます。
オーディオ (A) ボタンを押すごとに各種調整モードが次の順に切り替わります。
音量バランス調整モード→低音調整モード→高音調整モード→ラウドネス モード→サブ ウーファー モード→サブ ウーファー調整モード→FIEモード→SLAモード
解除するときは、バンド ボタンを押します。

アドバイス

- オーディオ (A) ボタンを押し、約30秒間何も操作がおこなわれなかった場合は、自動的に調整モードが解除されます。
- FM放送を聞いているときは“SLAモード”には切り替わりません。
- サブ ウーファー モードおよび、サブ ウーファー調整モードは、サブ ウーファー (別売) 接続時のみ有効となります。また、サブ ウーファー モードで“OFF”にしておくとサブ ウーファー調整モードには切り替わりません。“OFF”にする場合は、サブ ウーファー モードで調整ボタンの下側を押してください。

○音量バランス調整

オーディオ (A) ボタンを押し“音量バランス調整モード”に切り替えます。このときディスプレイ部に“FADER:”が表示されます。

前後バランス調整



調整ボタンの上側または下側で調整します。

アドバイス

- 前後バランス調整は、ディスプレイ部に表示される“F15~0~R15”の範囲で調整できます。

左右バランス調整



調整ボタンの左側または右側を押すとディスプレイ部に“BAL:”が表示されます。
調整ボタンの左側または右側で調整します。

アドバイス

- 左右バランス調整は、ディスプレイ部に表示される“L9~0~R9”の範囲で調整できます。

○低音調整



オーディオ (A) ボタンを押し“低音調整モード”に切り替えます。このときディスプレイ部に“BASS:”が表示されます。

アドバイス

- 低音調整は、ディスプレイ部に表示される“-6~0~+6”の範囲で調整できます。
- 低音調整は、各ソースごとに設定することができます。
- 交通情報も一つのソースとして設定することができます。(ラジオの操作方法 交通情報ボタン 参照)

○高音調整



オーディオ (A) ボタンを押し“高音調整モード”に切り替えます。このときディスプレイ部に“TREBLE:”が表示されます。

アドバイス

- 高音調整は、ディスプレイ部に表示される“-6~0~+6”の範囲で調整できます。
- 高音調整は、各ソースごとに設定することができます。
- 交通情報も一つのソースとして設定することができます。(ラジオの操作方法 交通情報ボタン 参照)

○ラウドネス



ラウドネスを“ON”にすることにより、小さな音量で聞いているときの、低音や高音の不足感を補正し、メリハリのある音にすることができます。オーディオ (A) ボタンを押し“ラウドネスモード”に切り替えます。このときディスプレイ部に“LOUD:”が表示されます。

○FIE*モード

リヤスピーカーの音を低音だけにするにより前方にステージがあるような感じにすることができます。
※Frot Image Enhancer (フロントイメージエンハンサー) の略



オーディオ (A) ボタンを押し“FIEモード”に切り替えます。このときディスプレイ部に“FIE:”が表示されます。

アドバイス

- FIEを“OFF”にするときは、音量を小さくしてからおこなってください。FIEを“OFF”にすると、リヤスピーカーから低音以外の音も出力されるため、音量が急に大きくなります。FIEが“ON”のときは、リヤスピーカーの音が低音のみとなります。“音量バランス調整モード”で前後音量バランスの調整で最適なバランスに調整してください。
- 2スピーカー装着車では、機能しません。FIEを“OFF”にしてください。

○SLAモード

音源を切り替えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。



1. ソース ボタンでFM放送を受信し、FM放送の音量を確認します。(ラジオの操作方法 参照)
2. 調整したいソースに切り替えます。

オーディオ (A) ボタンを押し“SLAモード”に切り替えます。このときディスプレイ部に“SLA:”が表示されます。

アドバイス

- レベル調整は、ディスプレイ部に表示される“-4~0~+4”の範囲で調整できます。
- FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調整するため、FMを聞いているときは“SLAモード”に切り替えることはできません。
- AMと交通情報は同じ設定となります。

■ ラジオの操作方法 ■

1. エンジン スイッチを“ON”または“ACC”の位置にします。
2. ソース ボタンでラジオを受信し、バンド ボタンで、希望のバンドを選びます。



アドバイス

- バンド ボタンを押すごとに、F1 (FM1) → F2 (FM2) → A1 (AM1) → A2 (AM2) の順に切り替わります。

3. 調整ボタン、または選局ボタンを押して希望の局を選びます。



○ 選局のしかた



手動選局

調整ボタンの左側または右側を押して希望の周波数にあわせませす。調整ボタンを0.3秒未満押しすと段階的に、調整ボタンを2秒以上押し続けると連続して周波数が変化します。このときディスプレイ部に、そのときの受信周波数が表示されます。

- 周波数の高い方へ選局するときは右側
- 周波数の低い方へ選局するときは左側

自動選局

調整ボタンの左側または右側を0.3~2秒間押し続け手を離します。放送を受信したら自動的に止まります。受信感度が良くディスプレイ部に表示されている周波数に一番近い周波数を自動で選択します。このときディスプレイ部に、そのときの受信周波数が表示されます。自動選局を解除したいときは、調整ボタンをもう一度押しと解除できます。

- 周波数の高い方へ選局するときは右側
- 周波数の低い方へ選局するときは左側

アドバイス

- 山岳部や弱電界地域で、自動選局をおこなった場合、放送局があっても自動的に止まらないことがあります。手動選局をおこなってください。
- 電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおこなうと便利です。

○ 選局ボタンのセット

プリセット メモリー

1. 調整ボタンの左側または右側で記憶させたい放送局の周波数にあわせませす。
2. 選局ボタンの1~6のいずれか1つを2秒以上押し続けると押したボタンの番号が点滅します。記憶が完了すると点滅が止まり押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。



アドバイス

- 車両の整備などでバッテリーとの接続が断たれた場合、選局ボタンの記憶が消去されます。もう一度記憶をしておいてください。

ベストステーションズメモリー

放送局を自動的に、選局ボタンに記憶させることができます。

1. バンド ボタンを押し、記憶させたい放送局を選びます。
2. Fボタンを押し“BSMモード”に切り替えます。このときディスプレイ部に“BSM”が表示されます。
3. 調整ボタンの上側を押すとベストステーションズメモリーを開始し、ディスプレイの“BSM”表示が点滅します。
4. ベストステーションズメモリーが完了すると“BSM”表示の点滅が止まり、1のボタンに記憶された放送局を受信します。
5. バンド ボタンを押すと、解除されます。



アドバイス

- ベストステーションズメモリーはプログラム切り替えボタンで操作することも可能です。プログラム切り替えボタンを2秒以上押すとベストステーションズメモリーが始まります。
- 現在受信状態の良い放送局を選局ボタンに自動的に記憶します。
- 強い電波の放送局が6局以上ないときは、過去に記憶した放送局がベストステーションズメモリーボタンに残りません。
- ベストステーションズメモリーをすると、これまでメモリーされていた放送局は消去されます。

記憶させた放送局の呼び出し

記憶させた放送局を直接呼び出すときは、選局ボタンの1~6のボタンの1つを押します。順番に呼び出すときは調整ボタンの上側または下側を押します。調整ボタンの上側を押すと次の記憶番号の放送局を呼び出し、下側を押すと前の記憶番号の放送局を呼び出します。

アドバイス

- このときディスプレイ部に、そのときの放送局の記憶番号が表示されます。

放送局名の記憶方法

1. バンド ボタンを押し、放送局名を記憶させたい放送局を選局します。
2. Fボタンを2秒以上押し続けた後、再度Fボタンを押し“放送局名モード”に切り替えます。このときディスプレイ部に“ST.NAME”が約2秒間表示されます。
3. 調整ボタンの左側または右側で放送局名を選びます。左側を押すと次の放送局名、右側を押すと前の放送局名を呼び出すことができます。
4. 調整ボタンの上側を押すと選局した放送局に放送局名が記憶されます。
5. バンド ボタンを押すと、解除されます。



アドバイス

- 選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないときはディスプレイ部に“NO DATA”と表示されます。
- 放送局名を表示させたくないときは“--”（全て空白）を選んでください。



放送局名を表示させるとき



Dボタンを押すごとに“放送局名表示”と“受信周波数表示”が切り替わります。

アドバイス

- 放送局名が記憶されていない周波数は、放送局名表示には切り替わりません。

○交通情報ボタン

交通情報をおこなっている地域で交通情報受信専用のボタンとして使用できます。



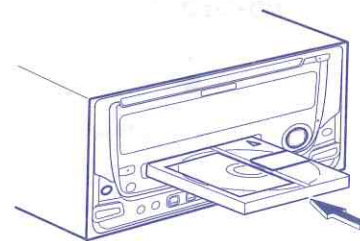
1. 交通情報 ボタンを押すと交通情報局が受信できます。
2. 調整ボタンの左側または右側で受信したい交通情報局に切り替えます。
 - 左側…1620kHz
 - 右側…1629kHz
3. もう一度交通情報 ボタンを押すと解除されます。

アドバイス

- 交通情報は、電源が“OFF”の状態、あるいは、他のソースが選択されている状態からでも操作できます。
- 交通情報をおこなっていない地域では受信できません。
- 交通情報を受信中は、交通情報用の音量を設定することができます。交通情報の受信を解除したときは、もとの音量に戻ります。
- 車両の整備などでバッテリーとの接続が断たれた場合はAM1620kHzにセットされます。

■ MDプレーヤーの操作方法 ■

1. エンジン スイッチを“ON”または“ACC”の位置にします。
2. ディスクのラベル面を上にしてディスク差し込み口にディスクを差し込むと、自動的に演奏が開始されます。



アドバイス

- ディスクを差し込むときは、ラベル面を上にするとともにディスクの矢印の方向を確認してから入れてください。
- 長時間モード(MDLPモード)で録音されたMDは、録音方式が異なりますので、再生できません。

○早送り、早戻しボタン



選曲するとき

- 調整ボタンの右側または左側を押します。
- 曲の再生中に左側を押すと、その曲の始めに戻ります。このときもう一度押すと前の曲になります。
- 次の曲を再生する場合は右側
 - 前の曲を再生する場合は左側

早送り、早戻しするとき

- 調整ボタンの右側または左側を押し続けます。そのまま押し続けている間、聞いている曲が早送り、早戻しされます。
- ボタンから手を離すとその位置から再生を始めます。
- 曲を選んだときに、曲名を自動的に一回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときは、自動的にスクロール表示しません。
- 早送りの場合は右側
 - 早戻しの場合は左側